

会 議 録

会議名	令和7年度 第4回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和8年2月14日(土) 午後1時30分～午後2時50分		
開催場所	星が丘公民館 コミュニティ室		
出席者	委員	11人(別紙のとおり)	
	その他	4人(廃棄物政策課1人、資源循環推進課 ごみ減量PR室1人、 清掃施設課1人、放課後児童対策課1人)	
	事務局	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力 推進員1人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市のごみの現状と課題について ・市立児童クラブの課題や今後の取組について <p>4 議 題</p> <p>(1) 星が丘地区の課題について</p> <p>(2) 星が丘地区第48回ふるさとまつり・第15回ふれあいフェスティバル実施結果について</p> <p>(3) 令和8年度のまちづくり会議について</p> <p>(4) 星が丘地区まちづくりを考える懇談会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度結果報告書の配布 ・令和8年度実施希望等について <p>(5) 地域活性化事業交付金制度の一部見直しについて(報告)</p> <p>5 閉 会</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言、◎は担当課の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

2 あいさつ

3 連絡事項

・相模原市のごみの現状と課題について

廃棄物政策課、資源循環推進課、清掃施設課から相模原市のごみの現状と課題について、資料に基づき説明された。

<主な意見・質疑>

○次に設置される最終処分場は何年まで埋め立てることができるのか。また、さらにその先はどのように考えているのか。

⇒◎環境省の指針では、15年を目安に最終処分場を作るよう示されている。現在の最終処分場の満杯時期を令和19年度とし、同年度から埋め立て開始を想定した場合は、最長令和34年度まで埋め立てができることになる。それ以降は、相模原市内で最終処分場を見つけることは難しいと考えており、民間業者による灰の資源化委託等といったロードマップを作り、最終処分場を作らないようにしていきたい。

⇒○最終処分場を設置するために掘られた土はどうなるのか。

⇒◎処分するのではなく、災害時廃棄物仮置場の設置や市の公共工事間での流用等で活用していく。

○分別をしてもごみは発生してしまうので、他市が実施している焼却灰を道路敷材にするといった対応はしないのか。灰の資源化について詳しく知りたい。

⇒◎現在、南清掃工場で発生した焼却残渣（スラグ）は、津久井広域道路の材料とする等、道路用の資材として使っている。他にも民間業者と連携し、何か製品を作ることができないか、検討を進めている。

○ごみ袋を有料化し、戸別収集することはできないのか。負担が発生することで、市民の意識も変わり、ごみの分別や減量化が促進されると思われる。

⇒◎ごみ袋の値段が高いほど、ごみが減る傾向は出ているが、物価も上がっている社会情勢のなかで、ごみ袋の有料化は生活に負担をかけてしまう。ごみの減量化と市民生活の負担、双方を慎重に考えながら話し合いを進めている最中である。

○収集業者の負担が大きいと聞いたことがあるが、10月からプラ製容器包装とペットボトルの回収日を分けることは、業者にとって効率的になるのか。また、ペットボトルの蓋下部分を分別しようにも取ることが難しいため、製造会社に依頼して同じ素材にした方が良い。現在、どのように処理しているのか。

⇒◎現在、同じ日にペットボトルとプラ製容器包装を回収しているが、ペットボトルと一緒に袋でプラ製容器包装を捨てている事例や、ペットボトルの蓋やラベルがついたまま捨てられる事例が多く、10月以降はペットボトルをプラスチックとは別の日とし、リチウムイオン電池等と一緒に回収することとした。回収後は細かく分解し、比重の違いでペットボトル本体と蓋の素材を分けている。さらに、収集業者の負担軽減として、現在行っている土曜日の資源収集を平日の収集に変更することも検討している。

○分別方法が変わると高齢者がよく分からず一般ごみで出してしまう可能性がある。自治会に加入していない人たちも含めて、周知をお願いしたい。

⇒◎10月に向けて、チラシやパンフレットの全戸配布、地域での説明会等を実施し、周知を図っていききたい。外国人向けのパンフレットも作る予定である。

・市立児童クラブの課題や今後の取組について

放課後児童対策課から市立児童クラブの課題や今後の取組について、資料に基づき説明された。

<主な意見・質疑>

○市で人を雇うのではなく、民間を引き入れて補助金を出した方が効率的だと思うが、民間の児童クラブと市立ではどのような違いがあるのか。

⇒◎民間児童クラブとは、開設時間や送迎、学習要素等のサービス内容に違いがあり、市立に比べると利用料金は高いが、それらのサービスを希望して最初から民間児童クラブを選ぶ家庭も多い。

⇒◎他自治体では、補助金を民間児童クラブ事業者へ出すことで、市立児童クラブを運営せず、民間児童クラブのみという市もあれば、民間児童クラブ事業者への補助金制度がない市もある。相模原市では、放課後の児童の居場所を確保するため、民間児童クラブへの運営補助も行いながら、市立と民間の両輪で児童クラブ運営に取り組んでいる。

○募集職員の年齢制限はないのか。

⇒◎年齢制限は設けていない。

○特別な配慮が必要な児童の場合は、受入れ人数に制限があるのか。また、対応は配慮してくれるのか。

⇒◎特別な配慮が必要な児童であっても、定員の中で受入れをする。配慮が必要な児童については、状況に応じて、見守る補助員の人数を変えるなど柔軟に対応している。

4 議 題

(1) 星が丘地区の課題について

事務局から、星が丘地区の課題について資料に基づき説明された。

<主な意見・質疑>

○令和7年度から個別登校になり、通学路外を登下校する児童も見られるが、大きな問題もなく順調である。ただ、もう少し学童通学安全指導員の人数が増えれば、学校の先生がいなくても西門側交差点を2人体制で見守ることができる。

○登校時は決まった場所に、決まった人員が配置されているが、下校時は見守りをする人が少ない上に、児童も横に広がって帰るので危険性を感じる。特に低学年の背が低い児童は車の運転席から認知されにくい。例えば、下校時に自分の家の前に立つだけでも良いので、子どもを見守る人が増えると大変助かる。

(2) 星が丘地区第48回ふるさとまつり・第15回ふれあいフェスティバル実施結果について

事務局から、星が丘地区第48回ふるさとまつり・第15回ふれあいフェスティバル実施結果について、資料に基づき説明された。

<主な意見・質疑>

○昨年のような苦情は出なかったか。

⇒●近隣住民から音量が大きいという注意があった。

⇒○来年度は音量を小さくし、スピーカーの向きを工夫する等の改善をしたい。

(3) 令和8年度のまちづくり会議について 及び

(4) 星が丘地区まちづくりを考える懇談会について

事務局から、令和8年度のまちづくり会議及び星が丘地区まちづくりを考える懇談会について、資料に基づき説明された。

<主な意見・質疑>

○中央区内で令和7年度まちづくりを考える懇談会を実施した地区はいくつか。

⇒●中央区内では星が丘地区と大野北地区の2地区になる。全市では、22地区中9地区が開催した。

⇒○他の地区は大きな課題等があるから実施するだろうが、星が丘地区では特に大きな問題はない。

⇒○話すテーマがなければ実施する必要はない。

<結果>

- ・令和8年度まちづくり会議の日程は案のとおり可決された。
- ・令和8年度星が丘地区まちづくりを考える懇談会は、地区内に大きな問題がないため、実施しないこととした。

(5) 地域活性化事業交付金制度の一部見直しについて（報告）

事務局から令和8年度からの地域活性化事業交付金制度の見直しについて、資料に基づき報告された。

<主な意見・質疑>

○来年度の交付金の上限額は変更ないか。

⇒●今年度と同様に中央区の予算としては1,000万円とし、各地区100万円を配分できる想定しているが、3月の議会で決定となるため、取り扱いについてはご注意願いたい。

⇒○今年度の交付実績はいくらになるのか。

⇒●予算額1,000万円に対し、現状では約860万円を交付しているので、執行率は86%の見込みとなっている。

○単位自治会だけに限定した事業を考えているが、対象になるのか。広域での事業では実施が難しいが、単位自治会なら4年目以降自己負担が発生しても実施できる。

⇒●事業の対象要件は変わらないため、単位自治会に限定された事業では交付は難しい。

5 閉 会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	竹田 幹夫◎	会長	出席
2	公民館	後藤 陽子○	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	坂本 洋三○	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	前会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	若山 美代子	会長	欠席
6	星が丘小学校PTA	岡本 浩三	会長	欠席
7	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	出席
8	スポーツ推進委員	橋本 頼賢		出席
9	健康づくり普及員協議会	長塚 勇一郎	委員	出席
10	地区老人クラブ連合会			
11	地域包括支援センター	柳下 恭子		出席
12	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	欠席
13	消防団第4分団第4部後援会	立山 均	会長	出席
14	交通安全協会星が丘支部	皆川 智明	副支部長	出席
15	公募	近藤 大助		出席 (Zoom)

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）